

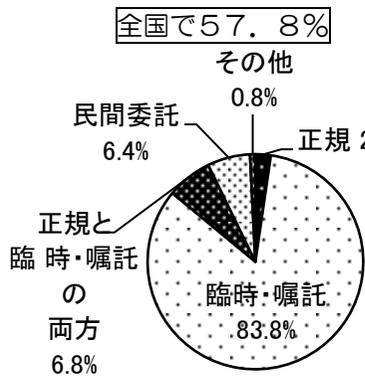
# 羽曳野市学校図書館ニュース 第17号

平成28年7月発行：羽曳野市学校図書館司書会

## 学校図書館司書配置 20年の歴史

昨年平成27年度で、羽曳野市の学校に専属の司書が配置されてから20年を迎えました。学校図書館司書の役割、公共図書館との連携や先生方との協働による図書館を使った教育、子どもたちにどう活用されてきたのか、今までの歴史とこれからの展望をまとめました。

各市町村の学校司書配置の状況（全国学校図書館協議会 平成27年度学校図書館整備施策の実施状況より）



全国では複数校兼務や、毎日の勤務がない厳しい状況です。

そんな中、羽曳野市では、嘱託職員として、各校（小学校14校中13校、中学校6校中2校）に専任の司書が配置され、常勤の強みを活かし、先生方と連携しながら、子どもと本をつないでいます。

### 図書館の環境整備



### 自分で資料を探せるように



### 常時開館



読みたい本たくさんありすぎて困る～どれから借りよう～（白鳥小）

〇〇の食べるものわかったー！（西浦小）

なんか本好きになってきたわ。（埴生南小）

### 児童・生徒の興味にあった資料や授業に必要な資料の収集

### 学校図書館司書の役割

### 図書館資料を使った授業支援



小学校では、計画的に「図書の日」を設定し、読書支援、教科に関する資料紹介、利用指導等を行う。

### 司書の専門性を高めるため、月2回の研修

- ・文学作品を見る目を育てる
- ・利用指導について
- ・教科書に掲載されている本の研修 等

### 公共図書館への橋渡し

興味を持ったことに対して、自ら資料を使って解決できる力

- ・マナーについて
- ・レファレンス、予約システム、公共図書館と同じ配架で分類
- ・資料の使い方
- ・調べ方



### 公共図書館との連携

資料選択の幅を広げる



## あゆみ

平成7年度 文部省「学校図書館情報化活性化事業」地域指定（平成9年度まで）

平成8年度 専任司書配置  西浦東小・高鷲南小・丹比小

平成9年度  高鷲小・羽曳が丘小・古市小

平成10年度  古南小・高北小  
公共図書館との書籍配送車運行開始

平成11年度  埴南小・西浦小

平成12年度  恵我之荘小・埴生小

平成15年度 **司書教諭発令**（小学校13校・中学校5校）  
※学校図書館法により平成15年4月1日以降は、12学級以上の学校には必ず置かなければならないとされました。  
学校図書館の蔵書をデータベース化開始

平成16年度 文部科学省「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」地域指定（平成18年度まで）

平成17年度  白鳥小

平成18年度  峰塚中（平成20年度まで）

文部科学省「学校図書館支援センター推進事業」地域指定（平成20年度まで）

平成20年度  河原城中（平成22年度まで）

平成21年度  誉田中（平成23年度まで）  
羽曳野市学校図書館ニュース発行開始（年2・3回）  
ヨークヨーム（高学年用読み物リスト）発行

平成22年度  高南中（平成24年度まで）

平成23年度 市立小中学校一斉に読書週間の取り組みを開始  
子ども読書の日・読書週間に合わせて年2回

平成24年度  峰塚中（平成27年度まで）

平成26年度  羽曳野中（3年目）  
公共図書館と秋の読書月間の取り組み開始

平成28年度  高鷲中（1年目）

司書教諭とは・・・  
学校全体の教育課程を把握し、図書館や、図書館資料を活用した学習を計画し推進する教諭。

徐々にパソコン貸出

ただいま第2号作成中

中学校は2校配置の中、図書館教育を広めています。

司書おすすめPOP展示

## ～司書配置 20 年に寄せて～

### 明るい図書館が育てる「読みたい」気持ち (古市小学校・新熊先生)

司書が配置されてから、図書館がいつでも利用できるようになった。子どもたちは休み時間、いつでも本を読みに行けるし、私たちは授業で使いたい本をすぐに見つけることができる。調べ学習の際には、学校の本だけでなく市内小・中学校や公共図書館の本も集めてもらえるので、たくさん本を使って学習ができるようになった。図書館が明るくなり、本が整理されていることで、本を読みたいという気持ちになる。子どもの読書量もふえた。

### 図書館の息吹を感じて… (高鷲中学校・田中先生)

司書が配置されて早3ヶ月。図書館の息吹を感じるようになりました。ポップや分類、本の整備で雰囲気が変わりました。この日を待っていたのは、生徒だけではなく教師も同じ。早速、「授業で使いたいねんけど、ええ本ないかな」と相談しています。

今日も、昼休みにたくさんの生徒が本を借りに、癒されに行っています。

今後、ますます図書館の利用が増えることを願っています。

### 読書環境の整備に取り組む (中央図書館・岩佐司書)

市立図書館では、学校への支援に積極的に取り組むことで、直接市立図書館に来ることのない子どもたちにも図書館サービスを行うことができると考えています。学校から求められる資料や情報の提供に努めることで、市立図書館の蔵書構成を考える上でも、貴重な情報を得ることができるようになりました。学校との連携は、子どもの読書環境を整備するための取り組みを前進させるものであり、市の図書館行政にとっても大きな成果であると申します。

## ～これからの 20 年に向けて～

これまでの 20 年を振り返ると、理想の図書館教育とはなにか、司書の専門性とはなにかを模索し続けてきたように感じます。その根底には、「子どもと本をつなぎたい、図書館と学校教育をつなぎたい」という思いがありました。

子どもたちには、読書の楽しみを知り、本を使って疑問を解決する力を身につけてほしいと思っています。調べてわかる喜びを積み重ねることが、生涯学習の基礎となることでしょう。

先生方には、図書館の特性を知り、授業に役立てていただきたいと願っています。そして、図書館を使って、どんな力を子どもたちに身に付けてほしいのかを一緒に考えていけたらと思います。そのためには、私たち司書が専門家として自己研鑽を高め、先生方から信頼される存在になることが必要だと考えています。

学校図書館は、だれもが大好きな一冊に出会え、子どもたちの世界を広げられる場所でありたいと思います。これからの 20 年も先生方と協働しながら、子どもたちを支えていきたいと思っています。

## 先生のおすすめ本コーナー

テーマ 『学級で読んでよかった本』

### 『はれときどきぶた』

作・絵：矢玉四郎  
出版：岩崎書店



「あったらいいな、こんな日記！」偶然からおきた、想像を絶するできごと！思わず「オオ～！楽しい」と思ってしまう。おもしろく、少しこわ～い。そして不思議なお話。低学年におすすめです！！

### 『へちまのへーたろー』

作：二宮由紀子  
絵：スドウピウ  
出版：教育画劇



「きゅうり」と間違われたへちまのへーたろー。怒ったへーたろーは、太ったり、つるつるになったり、ありとあらゆる努力をします。ど根性へちま“へーたろー”のめげない姿を描いた絵本です。前向きなへーたろーにいつの間にかひきこまれてしまう子どもたち。何度も読みたい！

### 『もうぬげない』

作・絵：ヨシタケシンスケ  
出版：ブロンズ新社



自分で服をぬごうとして、ぬげなくなってしまう「ぼく」。

ユーモアたっぷりで、特に低学年の子どもに読んであげると教室に笑顔があふれます。「1人でできない」ことは、はずかしいことじゃないというメッセージをこめて、読んであげたいお話です。

### 『タンタンタンゴはパパふたり』

作：ジャスティン・リチャードソン  
ピーター・パーネル

絵：ヘンリー・コール

訳：尾辻かな子

前田和男

出版：ポット出版



ロイとシロのペンギンカップル。飼育係のグラムジーさんの素敵なひらめきでさみしかった2羽に赤ちゃんペンギンができました。タンゴと名付けられた赤ちゃんは、パパが2羽いるはじめてのペンギン。ニューヨーク・セントラルパーク動物園で本当にあった素敵なお話です。